

－非常通信講演会－

『つながる！ こわれない！ 災害に強い 情報通信技術』講演会を開催



平成25年6月19日(水)、金沢市内において、総務省北陸総合通信局、北陸地方非常通信協議会、北陸情報通信協議会、情報通信月間推進協議会の共催により、非常通信講演会『つながる！ こわれない！ 災害に強い 情報通信技術』を開催しました。

今回のテーマは、先の大震災の教訓から、大規模災害時に発生した情報伝達上の課題について、「災害に強い通信技術」を総務省が委託により研究を進めてきたものです。

講演会では、研究の委託を行った総務省と 大規模災害時の通信網の早期復旧に関して研究を行ったスカパーJSAT様から講師をお招きし、ご講演をいただきました。



冒頭、総務省北陸総合通信局 齊藤局長から、今回、講演をいただく内容は補正予算を含めて平成23年度から平成24年度に総務省で予算の確保を図り研究を実施した事項であり、災害の際に情報を求められている方々に的確に情報を伝える技術や災害で被害を受けた通信回線を早期にバックアップする技術等多くの技術が研究されている。

北陸総合通信局では、こうした技術を紹介し、広めながら引き続き皆様のご協力のもと、北陸地域の防災対策の推進と、地域の皆さんの安全と安心の確保に努めていきたいと挨拶がありました。



《講演事項》

講演Ⅰ 「災害に強い情報通信技術の実現に向けた研究開発について」

講師 総務省情報通信国際戦略局 技術政策課 調査係長 喜多桂 様

講演Ⅱ 「誰でもすぐ簡単に衛星通信を！ ～小型自動地球局の研究開発について～」

講師 スカパーJSAT株式会社 通信技術部長 笹沼満 様

講演会には、自治体、消防をはじめとした防災関係機関、電気通信事業者、無線関係企業、一般聴講者など100名の参加があり、また、講演会終了後にボタン一つで起動し通信設定を整える小型自動地球局のデモ機による動作確認も行い、災害時の通信の確保について認識を深めました。



担当 無線通信部陸上課 076-233-4480